



2025年1月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年9月13日

上場会社名 クロスプラス株式会社 上場取引所 東名
コード番号 3320 URL <https://www.crossplus.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 大寛
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鮎川 崇 TEL 052-532-2211
半期報告書提出予定日 2024年9月13日 配当支払開始予定日 2024年10月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年2月1日～2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	29,616	7.5	893	14.2	997	12.9	754	39.9
2024年1月期中間期	27,547	5.4	1,041	152.8	1,144	101.0	1,254	48.1

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 541百万円 (75.8%) 2024年1月期中間期 2,239百万円 (169.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	102.24	101.39
2024年1月期中間期	170.85	169.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期中間期	27,592	15,979	57.8
2024年1月期	28,370	15,524	54.6

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 15,942百万円 2024年1月期 15,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期		12.00		15.00	27.00
2025年1月期		15.00			
2025年1月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	3.0	1,200	33.2	1,350	31.6	1,100	46.7	149.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年1月期中間期	7,718,800 株	2024年1月期	7,718,800 株
期末自己株式数	2025年1月期中間期	320,441 株	2024年1月期	347,241 株
期中平均株式数(中間期)	2025年1月期中間期	7,378,477 株	2024年1月期中間期	7,343,102 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年2月1日～2024年7月31日）におけるわが国経済は、個人消費や企業収益の回復などにより経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移しました。

当アパレル業界では、旺盛なファッション消費意欲やインバウンド需要に支えられ、市場環境は堅調な推移となりました。しかしながら、不安定な海外情勢や円安の進行などからエネルギーや原材料価格の高騰による物価の上昇が継続しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画に基づき、アパレル事業の深化と非アパレル事業の創出に取り組んでまいりました。アパレル事業においては、商品のNB化による取り扱い店舗の拡大やEC専用ブランドの強化を進めました。非アパレル事業では、ヘルスケアを中心とした新規商品の開発や販路拡大に努めるとともに、ビューティー関連商品の販売を強化することで、ライフスタイル分野のさらなる拡大を進めました。

売上高は、卸売では、機能性素材を用いたカットソーやボトムの好調により専門店向けが大きく伸長しました。小売では、夏物商品が好調に推移した百貨店や、外部モールが大きく伸長したECに加え、今春より開始した雑貨ショップの売上も貢献したことで、増収となりました。

利益面では、卸売において、短納期生産の増加による原価の上昇などにより、売上総利益率が若干悪化したものの、増収の影響により、売上総利益は83億2百万円（前年同期比6.3%増）となりました。経費面では、販売枚数増加に伴い物流費が増加したほか、小売の売上増加に伴う販売手数料や広告宣伝費の増加傾向が継続し、販売費及び一般管理費は74億9百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は296億16百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は8億93百万円（前年同期比14.2%減）、経常利益は9億97百万円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益1億31百万円の計上等により、7億54百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業部門別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
卸 売	23,523	+6.3
小 売	5,865	+13.4
そ の 他	227	△10.2
合 計	29,616	+7.5

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
専 門 店	14,624	+9.6
量 販 店	9,567	+4.7
無 店 舗	2,546	+6.6
百 貨 店 他	1,226	+8.9
E C	1,288	+10.2
そ の 他	363	△2.6
合 計	29,616	+7.5

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は275億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億77百万円の減少となりました。

流動資産は179億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億39百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、商品が1億89百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が8億24百万円減少したこと等によります。

固定資産は96億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、無形固定資産が61百万円減少したこと等によります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は116億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億32百万円の減少となりました。

流動負債は79億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億99百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が4億円増加したものの、支払手形及び買掛金が4億42百万円減少し、未払法人税等が4億6百万円減少したこと等によります。

固定負債は37億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億32百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が5億33百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は159億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円の増加となりました。純資産の増加の主な要因は、繰延ヘッジ損益が2億65百万円減少したものの、利益剰余金が6億34百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少し、54億90百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5百万円の収入(前年同期は18億50百万円の収入)となりました。これは、仕入債務の減少が4億85百万円(前年同期は13億73百万円の減少)となったものの、税金等調整前中間純利益が11億31百万円(前年同期は16億55百万円)、売上債権の減少が8億19百万円(前年同期は9億50百万円の減少)となったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、63百万円の収入(前年同期は4億69百万円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が83百万円(前年同期は4百万円の支出)となったものの、投資有価証券の売却による収入が1億72百万円(前年同期は5億2百万円の収入)となったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億49百万円の支出(前年同期は62百万円の支出)となりました。これは、短期借入金の増加が4億円(前年同期は10億円の減少)となったものの、長期借入金の返済による支出が5億33百万円(前年同期は5億17百万円の支出)となったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期通期の業績予想につきましては、2024年3月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,687	5,520
受取手形及び売掛金	8,145	7,321
電子記録債権	1,897	1,904
商品	2,528	2,718
貯蔵品	51	24
その他	446	528
貸倒引当金	△39	△39
流動資産合計	18,716	17,977
固定資産		
有形固定資産	3,701	3,708
無形固定資産		
のれん	309	276
その他	155	127
無形固定資産合計	465	404
投資その他の資産		
投資有価証券	4,984	5,007
その他	502	495
投資その他の資産合計	5,486	5,502
固定資産合計	9,653	9,615
資産合計	28,370	27,592
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,926	2,484
電子記録債務	2,271	2,229
短期借入金	-	400
1年内償還予定の社債	11	11
1年内返済予定の長期借入金	1,066	1,066
未払法人税等	562	156
賞与引当金	85	82
その他	1,785	1,478
流動負債合計	8,709	7,909
固定負債		
社債	46	40
長期借入金	2,682	2,149
退職給付に係る負債	788	767
その他	619	746
固定負債合計	4,136	3,703
負債合計	12,845	11,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	9,897	10,532
自己株式	△460	△424
株主資本合計	13,388	14,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,929	1,967
繰延ヘッジ損益	19	△246
為替換算調整勘定	85	111
退職給付に係る調整累計額	62	52
その他の包括利益累計額合計	2,096	1,883
新株予約権	39	37
純資産合計	15,524	15,979
負債純資産合計	28,370	27,592

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	27,547	29,616
売上原価	19,737	21,314
売上総利益	7,810	8,302
販売費及び一般管理費	6,769	7,409
営業利益	1,041	893
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	57	67
受取家賃	75	69
その他	14	11
営業外収益合計	148	149
営業外費用		
支払利息	11	10
為替差損	12	15
賃貸収入原価	20	19
その他	0	0
営業外費用合計	45	45
経常利益	1,144	997
特別利益		
投資有価証券売却益	403	131
会員権売却益	-	2
受取保険金	108	-
特別利益合計	511	133
税金等調整前中間純利益	1,655	1,131
法人税、住民税及び事業税	259	132
法人税等調整額	142	244
法人税等合計	401	376
中間純利益	1,254	754
親会社株主に帰属する中間純利益	1,254	754

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純利益	1,254	754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	37
繰延ヘッジ損益	904	△265
為替換算調整勘定	22	25
退職給付に係る調整額	△2	△9
その他の包括利益合計	984	△212
中間包括利益	2,239	541
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,239	541
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,655	1,131
減価償却費	113	107
のれん償却額	5	33
受取利息及び受取配当金	△58	△68
支払利息	11	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△403	△131
受取保険金	△108	-
売上債権の増減額 (△は増加)	950	819
棚卸資産の増減額 (△は増加)	482	△162
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,373	△485
その他	430	△809
小計	1,706	443
利息及び配当金の受取額	58	68
利息の支払額	△12	△10
保険金の受取額	108	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△10	△496
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,850	5
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4	△83
投資有価証券の取得による支出	△16	△16
投資有価証券の売却による収入	502	172
その他	△12	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	469	63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	400
長期借入れによる収入	1,500	-
長期借入金の返済による支出	△517	△533
社債の償還による支出	-	△5
配当金の支払額	△44	△110
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62	△249
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,266	△166
現金及び現金同等物の期首残高	3,895	5,656
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,162	5,490

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。